

市民公開講座開催のご案内

当院は、大阪府がん診療拠点病院として、緩和ケアを含めたがんサポート体制を整えてきました。緩和ケアチームの理念でもある「がんになっても自分らしい生き方を実現する」ために、この度、日本を代表する緩和ケアナース、京都大学大学院の田村恵子先生をお招きしご講演いただきます。



日 程

平成**30**年**3**月**16**日(金)

時 間

18時30分～20時15分(受付18時～)

場 所

JCHO大阪病院附属 看護専門学校 体育館

参加費

無料

申込み

一般市民／不要

医療・介護従事者／必要

講演会内容

1. 当院における緩和ケアの取り組み(10分)
2. 田村恵子先生の講演(90分)「がん共生時代を生きる」

講師の紹介

田村 恵子

京都大学大学院医学研究科 人間健康科学系専攻 臨床看護学講座
緩和ケア・老年看護学分野 教授
がん看護専門看護師

1996年聖路加看護大学大学院看護学研究科修了。1997年にがん看護専門看護師認定を取得。わが国における末期がんに対するホスピスケア(緩和ケア)の草分けである大阪市・淀川キリスト教病院で1987年より27年間勤め、約6000名を超える看取りに向き合う。2006年大阪大学大学院医学系研究科修了。「Caring for the spiritual pain of patients with advanced cancer: a phenomenological approach to the lived experience」で医学博士取得。2014年1月より現職。さらに、2015年7月より、地域で生活するがん患者や家族ががんをきっかけとして語り合い、生きる知恵や支え合う力を育む市民活動「ともいき京都」を開始し、ケアのコミュニティづくりを目指している。ホスピスでがん患者を最期まで看取り、家族の看護にも取り組む姿がNHK「プロフェッショナル 仕事の流儀」で2008年に放映された。2012年3月にはTBS系列放送「奇跡のホスピス～人生の“わすれもの”ってなんですか?～」(MBS制作)主人公・田辺礼子のモデルとなる。代表的な著書に『余命18日をどう生きるか』(朝日新聞出版)、『看護に活かすスピリチュアルケアの手引き 第2版』(青海社)などがある。



申込みについて

FAX またはメール ▶▶ fujisawa-koichi@osaka.jcho.go.jp

参加申込書

FAX : 06-6445-8900

申込締切 : 2018年2月28日(水)

ご 所 属			
代 表 者 お 名 前			
参加人数	人	ご連絡先	TEL :

お問い合わせ担当／看護部 今井、医事課 藤沢